

(お知らせ)

## 7号機における原子炉系主要設備の健全性確認の進捗状況について

2023年3月27日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所7号機では、2023年2月24日より、原子炉系主要設備の健全性確認を進めており、現在の進捗状況は以下のとおりです。

- ・原子炉のふたを開放 : 2月24日～3月9日
- ・燃料取替機の健全性確認 : 3月10日～3月23日
- ・制御棒駆動機構の健全性確認 : 3月24日～
- ・主蒸気隔離弁の健全性確認 : 準備中
- ・主蒸気逃がし安全弁の健全性確認 : 準備中

燃料取替機の健全性確認については、3月10日より開始し、設定値の調整をしながら3月23日までに一通りの動作確認を実施いたしました。

また、3月24日から、制御棒駆動機構の健全性確認を進めております。

これは燃料取替機を使用してダブルブレードガイド（制御棒転倒防止器具）を原子炉内に挿入した上で、原子炉の下から制御棒が正常に動作するかを確認するものです。

なお、3月24日の確認作業の中で、燃料取替機において警報が発生し、原子炉上部でダブルブレードガイドを掴んだ状態で停止しましたが、機器に異常がないことを確認した上で、警報を解除し、問題なくダブルブレードガイドを原子炉内に挿入しました。

詳細原因については、現在プラントメーカーにて調査をしており、その結果を踏まえて健全性確認を継続してまいります。

原子炉系主要設備の健全性確認の進捗状況につきましては、今後も定期的にお知らせしてまいります。

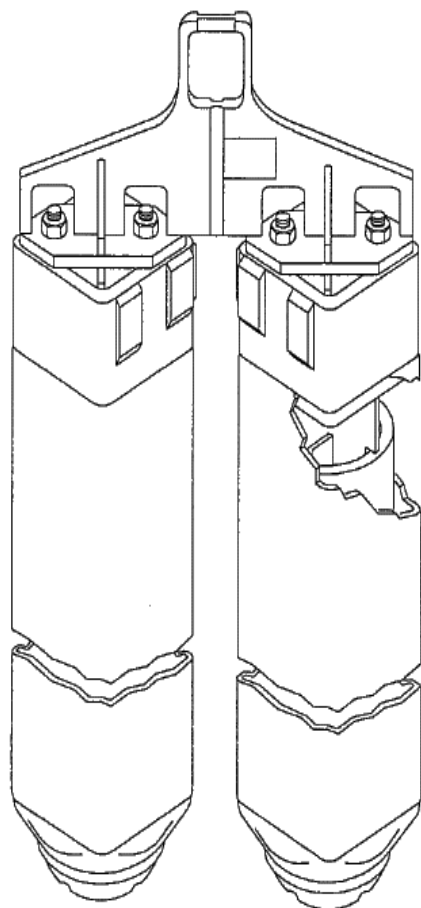
添付：【参考】ダブルブレードガイドについて

以 上

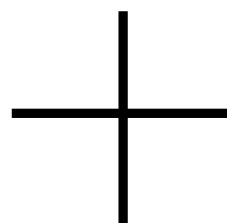
## 【参考】ダブルブレードガイドについて

- 燃料が無い状態で制御棒を挿入すると、制御棒が転倒してしまうため、燃料集合体を模擬したダブルブレードガイドを挿入し、制御棒の転倒防止を行う

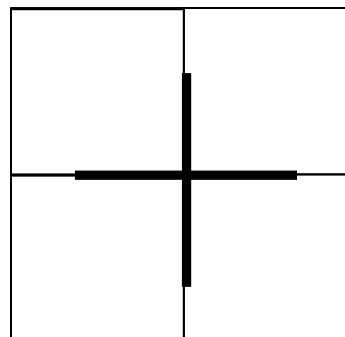
### ＜上部からの俯瞰イメージ＞



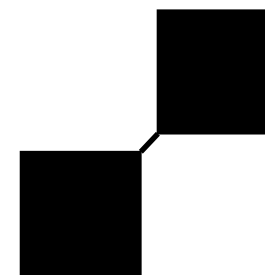
＜ダブルブレードガイド＞



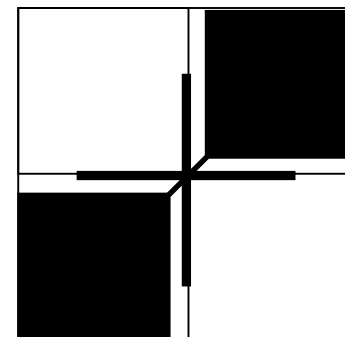
＜制御棒＞



燃料等が無い状態で  
制御棒を挿入すると  
制御棒に支えがない



＜ダブルブレードガイド＞



対角2箇所にダブルブレード  
ガイドを挿入することで、  
下から挿入される制御棒を  
支え、転倒防止を図る